令和八年度　看護学部学校推薦型選抜（公募制）国語　『コミュニケーション力』　解答例

一

問一　a 膨大　b せいち　c 器官　d 陥**りやすい**
e ぶっちょうづら　f ひんぱん　g 潤滑油　h わずら**わしさ**
i 取**り繕おう**　j いちじる**しく**

問二　A エ　B イ　C オ　D ア　E キ

問三　(1) 打てば　(2) 腰　(3) 釜の飯

問四　5

問五　二人で話しているときに、二つの身体が一つの響きで充たされる感覚が訪れること。

問六　目は口ほどにものを言う

問七　コミュニケーションの相手　（など）

問八　表情　が

問九　間合　相

問十　言語的

問十一　ほどけたからだ

問十二　ア ○　イ ×　ウ ×　エ ○　オ ×

二

ア 求　イ 率　ウ 解　エ 渋　オ 授
カ 違　キ 予　ク 機　ケ ○　コ 環

令和八年度　看護学部学校推薦型選抜（公募制）国語『コミュニケーション力』
出題の意図

一

問一　文脈に応じた漢字の書き取りと読みの力を問う。

問二　文脈に沿って、意味内容が本文に合致する言葉を的確に選べるかを問う。

問三　基本的な国語常識として、文脈にふさわしい慣用句の知識を問う。

問四　文脈を押さえ、どんな状態なのかを理解したうえで、それを表す適切な慣用表現が選べるかを問う。

問五　指示内容の中にさらに指示語が含まれていることを踏まえ、二つの文を使って指示内容をまとめあげられるかを問う。

問六　基本的な国語常識として、文脈にふさわしく、かつ定められた程度の字数の慣用句を考える力を問う。

問七　「人と人との間の『線』」とは何か、さらに「『対角線』を増やす」とはどういうことか、理解できているかを問う。

問八　本文中の「冷えた身体」についての記述の中から、求められた条件に最も合致する文をさがし出せるかを問う。

問九　「会話のポイントを言い表している」三つの漢字について、「『相手の間に合わせる』というわけだ」と説明していることの意味に気づいて、三つの漢字を考えることができるかを問う。

問十　本文全体を読み込んで、筆者の主張の要点を表す、もう一つの文を探し出せるかを問う。

問十一　「コミュニケーションの基礎」がどんな「身体」であるのか、理解できているかを問う。

問十二　本文の内容を正確に把握したうえで、各文の内容が本文に合致するかを的確に判断できるかを問う。

二

適切に漢字が使われている短文もある中、誤用の漢字を指摘し正しい漢字に直すことができるかを問う。